

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	交通安全団体支援事業	コード	01-04-01-02
		担当課・係	市民課・生活安全係
		担当者	芳田 猛
事業実施期間	昭和57年度～	電話	0869-64-1876
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	交通安全意識の高揚及び交通安全教育の実施	

事業について	
目的 (何のために)	交通安全活動等に関する団体への支援を行うことにより、啓発活動を活発化させ、家庭・学校・職場・地域などで、幅広い交通安全意識の高揚を図る。
対象 (誰・何を対象に)	交通安全活動関係団体
内容	補助金・助成金等の交付

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助・助成金交付団体	4 団体	3 団体	
交通安全運動参加者	1,192 人	853 人	
交通安全運動実施回数	23 回	24 回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,353	国庫補助金等		直接事業費	339	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,867	受益者負担		人件費	3,673	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債					市債	
合計	4,220	一般財源等	4,220	合計	4,012	一般財源等	4,012	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.35 人	0.42 人		
結果指標	結果指標名	啓発活動参加人数	啓発活動参加人数	
	結果指標量	1,192	853	
	単位	人	人	
	対前年比	-	71.56%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,353,000 円	339,000 円	
	単位当たりコスト	1,135 円	397 円	
結果指標	結果指標名	補助・助成金交付団体数	補助・助成金交付団体数	
	結果指標量	4	3	
	単位	団体	団体	
	対前年比	-	75.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,353,000 円	339,000 円	
	単位当たりコスト	338,250 円	113,000 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	交通安全意識の高い市民の増加		
成果指標名	交通運動参加者率	式又は説明	(啓発活動参加人数/H18.4.1現在の市内人口(41,357人)) × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	2.8	2.1	
対前年比	-	75.00%	0.00%
到達目標値	3.0	到達目標年度	平成23年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：交通安全対策基本法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 1,000 成果指標量 2.4	結果指標量 3

総合評価		評価区分 <A~E>
市からの補助金等の削減も限界にきているが、活動が縮小しないよう継続して支援していく必要がある。		A

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果